

議事2

新たな交通サービスの導入に向けて

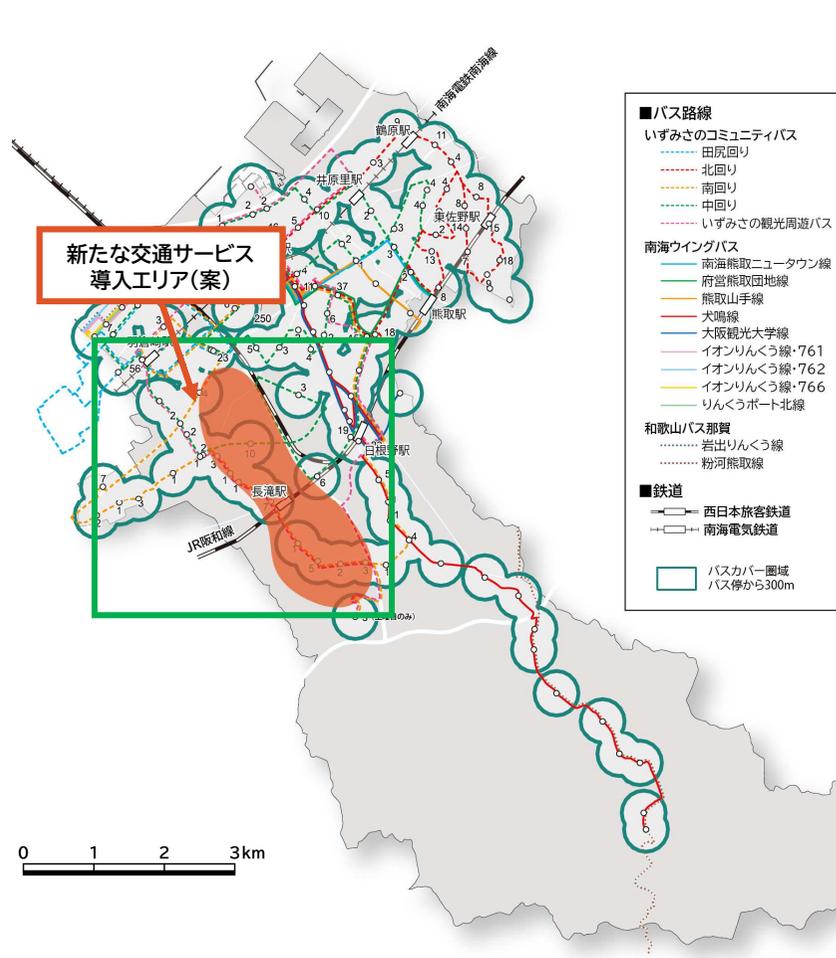
目次

1 前回協議会議事の振り返り	1
2 実証実験エリア	3
3 実証実験の内容	5
4 想定するミーティングポイント	6
5 今後のスケジュール	7

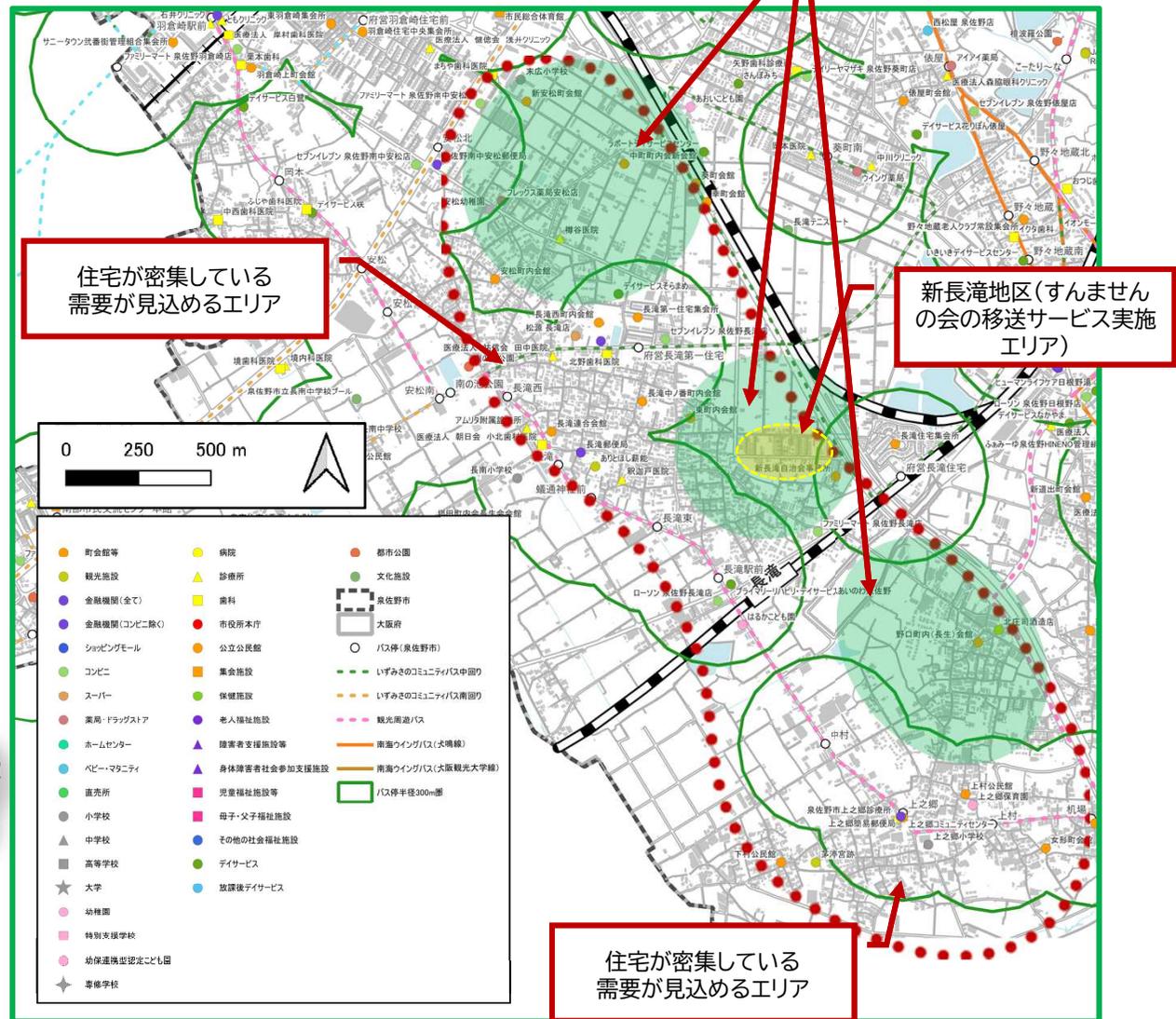
1 | 前回協議会議事の振り返り(導入エリアについて)

- 以下のエリアにおいて新たな交通サービスの実証実験を計画することについて承認された。
- 具体的な範囲やエリア境界については本日の協議事項とする。

▼対象エリア位置図



▼対象エリア(拡大図)

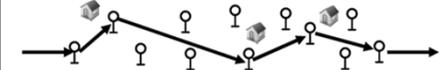


1 | 前回協議会議事の振り返り(実証実験の実施事項)

- 対象エリアにデマンド型(自由経路ミーティングポイント型)交通サービスを導入する案を提示した。
- 地域の公共交通として市民に利用されるサービスをめざすため、需要が見込むことができ、交通事業者との競争を回避するエリアでの実証を行う。将来的に公共交通空白地域の補完の交通手段として継続して活用できるか否かを令和7年度以降も引き続き検討予定である。
- 調整中、検討中の事項については本日の協議事項とする。

自由経路
ミーティング
ポイント
型

運行ルートは定めず、予約に応じ所定のバス停等間を最短経路で結ぶ方式。最短経路の選択により所要時間を短縮するとともに、バス停等を多数設置することにより、バス停等までの歩行距離を短縮することができる。一般タクシーとの差別化を図るため、目的施設または発施設を限定する場合が多い。



デマンド型交通実証実験の目的

目的1: 公共交通空白地域の解消

- バス停のない地域にお住まいの方やバス停から距離のある地域に住んでいる方などの移動手段を確保する。
- 公共交通空白地域を解消することで歩いて暮らせるまちの実現に向けた公共交通のネットワークを構築する。

目的2: 利用者ニーズを正確に把握する

- アンケート等では把握しきれなかった市民の移動ニーズを明らかにし、停留所毎に利用者数に大きな差異があるコミュニティバス中回り、南回りの再編に向けたデータを収集する。
- 将来、今回の実証実験エリアや市内の別の地域においてデマンド型交通等の新たな交通モードを導入する際の適性や既存交通との役割分担等を検討する際の基礎資料となるようなデータを収集する。

目的3: 高齢者等の外出促進

- 実証によって、これまで移動手段がないため外出機会が減少していた高齢者などの外出促進・健康増進をめざす。

令和7年度以降

- 実証実験の結果を受けて、新たな実証・継続実証の可能性を検討
- 既存の公共交通との連携方針を検討
- その他の効果的な公共交通施策を検討

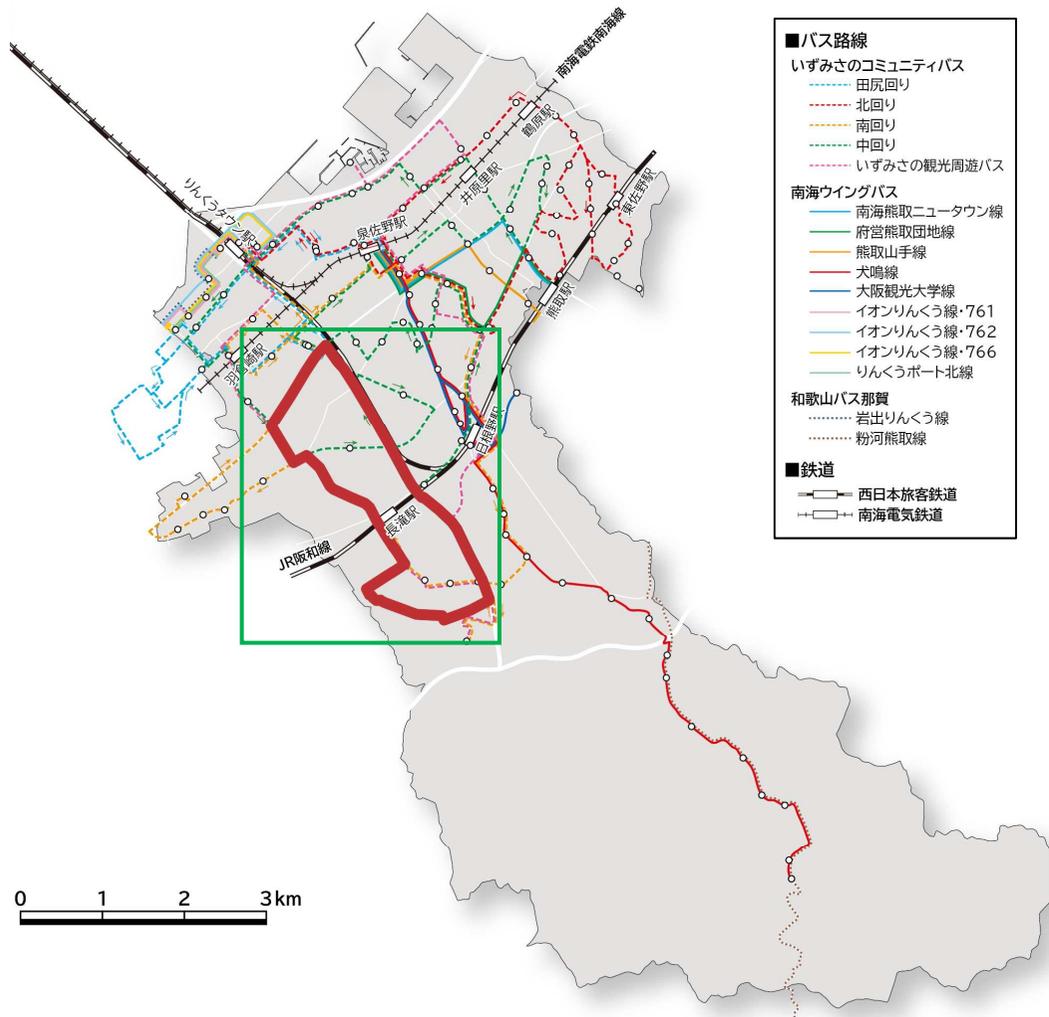
令和6年度実証事項(案)

背景・課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティバス(中回り・南回り)は路線短縮による効率運行などサービス改善の余地が残されており、今後の検討に向けた補完交通手段の確保が必要。 ■ 対象エリアは公共交通空白地域となっており、高齢化に備え、移動手段の確保が必要。 ■ 自治会による予約型の移送支援が実施されているが、担い手不足により持続可能性に課題を抱えている。
役割	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日常なおでかけ(買物・通院など)の際の公共交通 ■ 将来的に、市民が自家用車を利用せずとも移動できる公共交通ネットワークの構築に向けた公共交通空白地域の補完
実施事項	対象エリアにデマンド型交通サービスを試験的に導入
運行形態	区間運行(時刻表は無く、乗りたいときにアプリまたは電話で予約し、市内の乗降ポイントで乗降する)
運行エリア	泉佐野市 末広、上之郷小学校区の一部地域(調整中)
運行時間帯	検討中
運行車両	タクシー車両(乗車定員(運転手除く):4名) 車両数:2台(調整中)
運行期間	2カ月程度(調整中)
運行事業者	市内の交通事業者を想定(調整中)
運賃	実証実験時は無償
予約方法	予約アプリまたは電話(コールセンターを設置予定)
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利用状況(利用人数、目的地(OD)) ■ 利用者アンケート(利用目的、ニーズ) ■ 運行事業者へのヒアリング ■ 事業収支 <p style="text-align: right;">等 (検討中)</p>

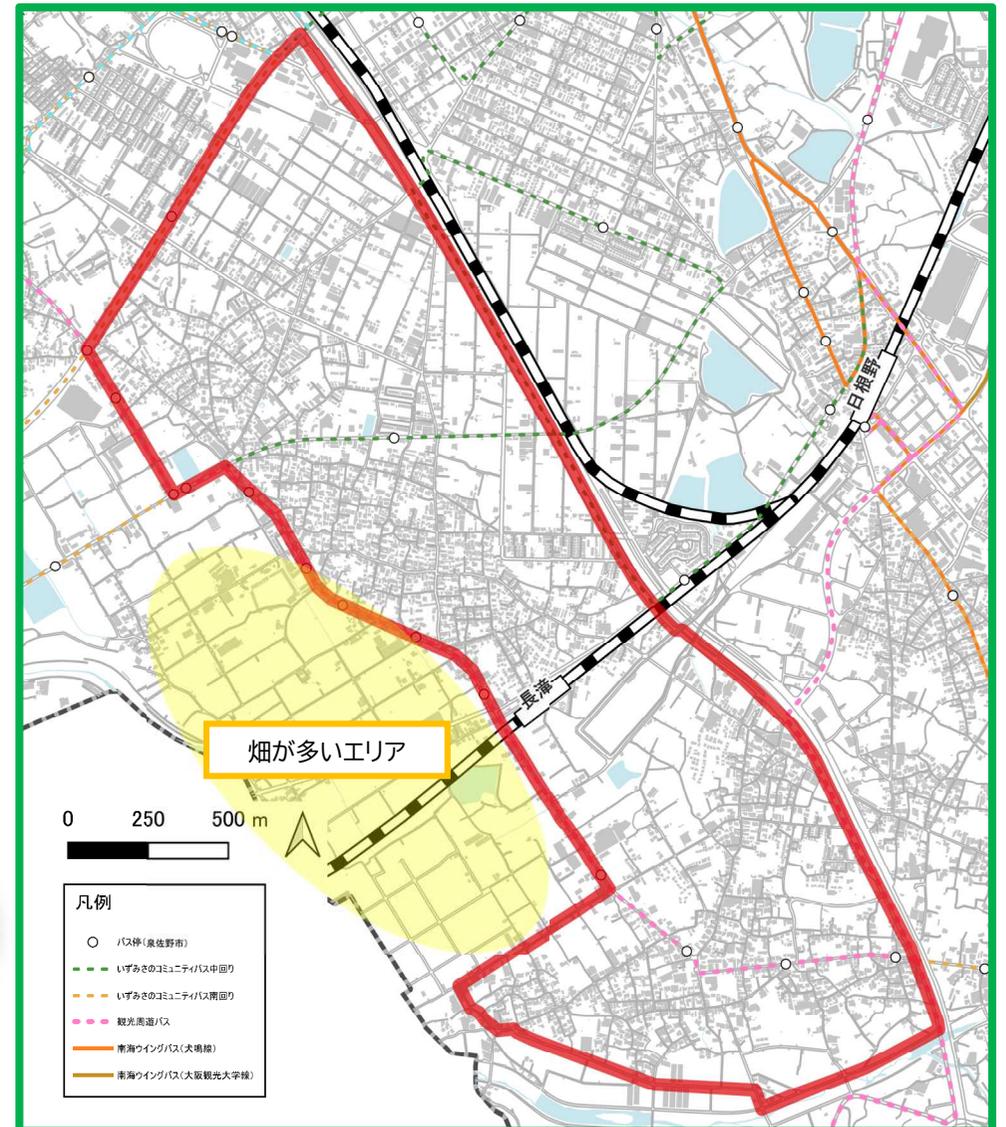
2 | 実証実験エリア

- 狭あい道路が多く、自治会の境界も複雑な構造をしていることを鑑みて、エリア界は主要な道路界として検討した。
- 畑が多く、交通サービスの目的地となる可能性が低いエリアは除外している。

▼実証実験エリア位置図



▼実証実験エリア(拡大図)

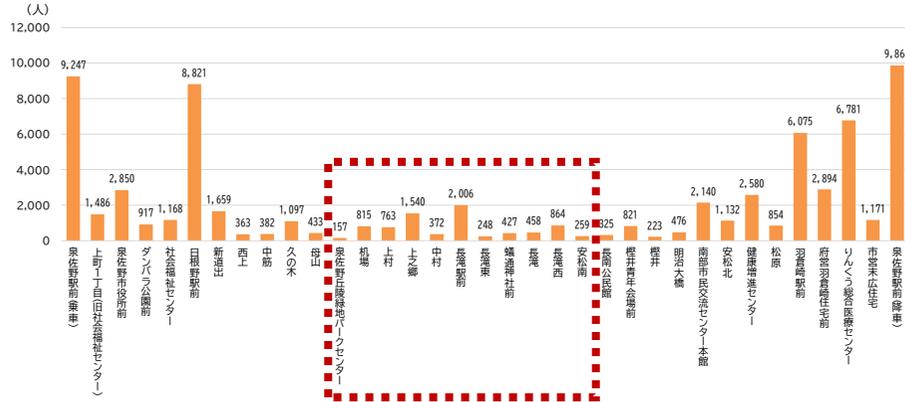


2 | 実証実験エリア

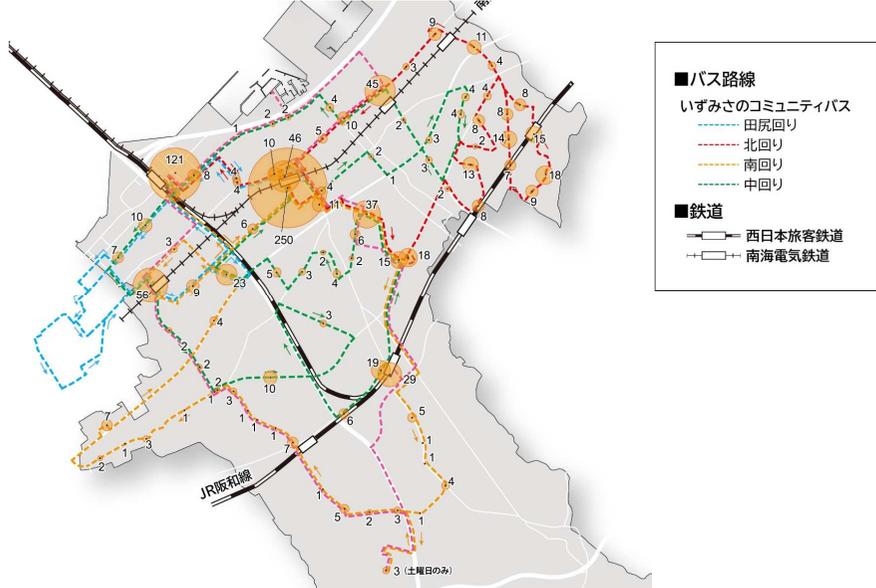
エリア選定の理由

- いずみさのコミュニティバスの対象エリアの乗降客数は他のエリアよりも少なく、バスの輸送力が活かせていない
- エリア内にはスーパー、病院など日常の移動先となるポイントが点在しており、移動需要が分散しているため自由度の高い交通サービスが適している
- 交通不便地域が点在している
- 人口密度が低く、バスなどの大量輸送に適していないエリア

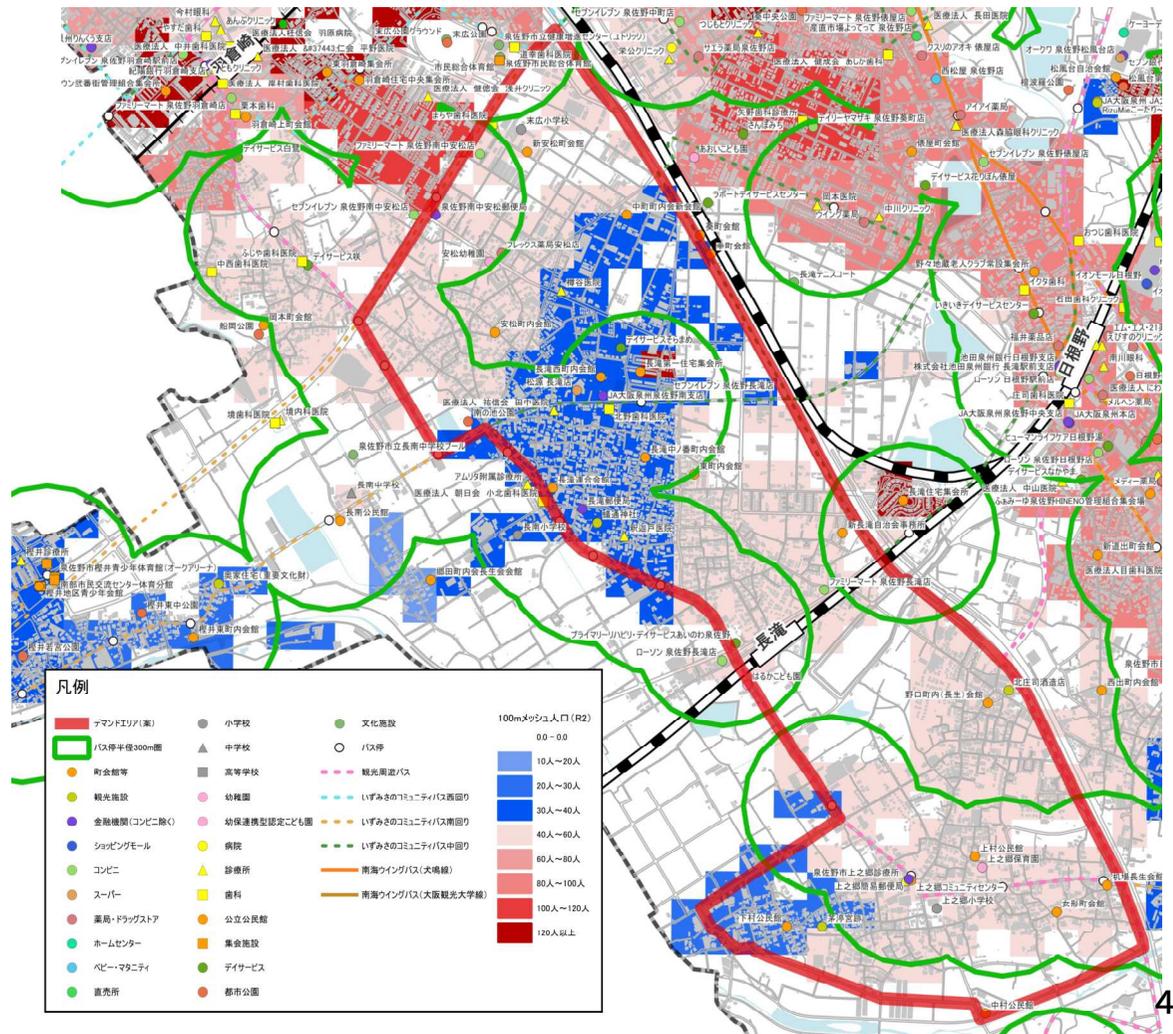
▼いずみさのコミュニティバス(南回り)停留所別乗降者数



▼いずみさのコミュニティバス停留所別乗降者数(1日あたり)



▼対象エリアの人口密度とバスカバー圏の状況



3 | 実証実験の内容(一部再掲)

デマンド型交通実証実験の目的

目的1:公共交通空白地域の解消

- バス停のない地域にお住まいの方やバス停から距離のある地域に住んでいる方などの移動手段を確保する。
- 公共交通空白地域を解消することで歩いて暮らせるまちの実現に向けた公共交通のネットワークを構築する。

目的2:利用者ニーズを正確に把握する

- アンケート等では把握しきれなかった市民の移動ニーズを明らかにし、停留所毎に利用者数に大きな差異があるコミュニティバス中回り、南回りの再編に向けたデータを収集する。
- 将来、今回の実証実験エリアや市内の別の地域においてデマンド型交通等の新たな交通モードを導入する際の適性や既存交通との役割分担等を検討する際の基礎資料となるようなデータを収集する。

目的3:高齢者等の外出促進

- 実証によって、これまで移動手段がないため外出機会が減少していた高齢者などの外出促進・健康増進をめざす。



令和7年度以降

- 実証実験の結果を受けて、新たな実証・継続実証の可能性を検討
- 既存の公共交通との連携方針を検討
- その他の効果的な公共交通施策を検討

実施事項	対象エリアにデマンド型交通サービスを試験的に導入
運行形態	区間運行 (時刻表は無く、乗りたいときにアプリまたは電話で予約し、市内の乗降ポイントで乗降する)
運行エリア	泉佐野市 末広、上之郷小学校区の一部地域 ※P.3のエリア
運行時間帯	9時～17時(日・祝を除く)
利用対象者	対象エリア内にお住まいの方
運行車両	タクシー車両(乗車定員(運転手除く):4名) 車両数:1台
運行期間	2025年2月～3月の2か月間
運行事業者	調整中
運賃	実証実験時は無償
予約方法	予約アプリまたは電話(コールセンターを設置予定)
調査項目	<ul style="list-style-type: none">■ 利用状況(利用人数、目的地(OD))■ 利用者アンケート(利用目的、ニーズ)■ 運行事業者へのヒアリング

※今後の検討状況や実証実験開始後の状況を見て、変更する可能性あり

4 | 想定するミーティングポイント(停留所)

ミーティングポイントの選定基準

- 既存のバス停や公民館、生活利便施設、その他の移動の目的地となる施設からミーティングポイントを選定
- 狭あい道路が多いため、車両の乗り入れ・乗降が可能なポイントを選定
- ミーティングポイント間でのみの移動に限定した運行を実施する

今後の検討事項

- 設置可否の確認・許可を得る
- 主要なポイントへミーティングポイントの目印となる掲示物等の設置 (ポスター形式、一部箇所では据え置きタイプを想定)
- ミーティングポイント位置の周知資料の作成

